



令和4年11月7日
仙台管区気象台

初冠雪（蔵王山）

11月5日に、蔵王山の初冠雪を観測しました。

平年より 8日遅く（平年は、10月28日）、

昨年より 18日遅い（昨年は、10月18日）観測です。

参考資料

1 初冠雪とは

対象とする山の山頂（山頂が見えない場合は中腹）が雪、または白色に見える固形降水（霧雪、みぞれ、吹雪、細氷、雪あられ、ひょう、氷あられ、凍雨（ただし、暖候期のひょう及び氷あられを除く））で覆われた状態を冠雪といいます。

「初冠雪」は秋から春に至る期間に初めて気象台から冠雪が望観できた日です。山頂に雪があっても気象台から冠雪が観測できない場合には「初冠雪」としません。

2 観測方法

観測は気象台から目視によって行います。観測単位は「日」となります。

3 これまでの観測記録

仙台管区気象台では1940年から観測を行っており、これまでの一番早い記録、一番遅い記録は以下の通りです。

一番早い記録（最早）：2011年10月 4日（平成23年）

一番遅い記録（最晩）：1941年11月22日（昭和16年）

本件に関する問い合わせ先 仙台管区気象台気象防災部観測課

平日 08:30-17:15 Tel 297-8106